

京都大学宇治キャンパス公開 2013

「探検！発見！きみがつくるサイエンス」を開催

2013年10月19日～20日の二日間にわたり、宇治キャンパス公開2013「探検！発見！きみがつくるサイエンス」を開催し、多数の市民が参加され、盛況のうちに終了しました。防災研究所は、宇治キャンパスで、「フラップゲート：津波・高潮・豪雨の浸水を防ぐ」、「体験！水資源～来て・みて・さわって 身のまわりの水～」、「地震やゲリラ豪雨で発生する高速地すべりと再現試験機」、「深層崩壊をおこす地形と地質：大きく崩れる場所はどこか」、「風を感じる」、「近畿の地震と活断層を探る」、「居住空間の災害を観る」の7つの公開ラボを実施し、宇治川オープンラボラトリーでも「災害映像など」、「流水階段歩行」、「土石流」、「降雨流出」、「都市水害のメカニズム」、「浸水ドア開閉」、「津波に耐える」7つの公開ラボを実施しました。また19日の午後には、大見士朗准教授が「ブータンヒマラヤ地域の地震災害軽減をめざして」の特別講演会を行いました。

参加者は、普段は立ち入ることの出来ない研究室や実験施設の見学や最先端の防災研究成果に触れられることもあり、楽しみながら学習されていました。



